

豊川ロータリークラブ
2009~2010 年度 Club Weekly
豊川
のんほい



会長：安田一夫 幹事：樋口俊寛 SAA：竹内幹尚 会報委員長：久具信夫

事務所：愛知県豊川市豊川町辺通 4 - 4 豊川商工会議所会館内

TEL 0533-86-2100

FAX 0533-86-8889

E-mail tyrc@sala.or.jp URL <http://www.toyokawa-rc.jp>

(クラブテーマ)

豊川クラブらしい(らしく)活動

第37回例会(通算2516回)平成22年4月14日

例会場 東海カントリークラブ
点 鐘 安田一夫会長
司 会 竹内幹尚 SAA
ローターソング 「それでこそロータリー」

出席報告

全会員数	68 名
出席記録会員数 53 名	出席会員 38 名
出席免除 b 項 15 名	欠席会員 30 名
出席率	65.52%

例会修正出席率 (3/24 例会)

ホームクラブ出席	50 名
メイクアップ	9 名
欠席	10 名
出席率	93.65%

☆☆☆☆ 会長報告・挨拶 ☆☆☆☆

安田一夫会長

今年は桜が早くから咲き、しかも長いこと咲いていました。入学式の頃まで咲いているといなと思っていましたところ、それが叶い嬉しく思います。桜が散り、野山は緑一色になり、美しい新緑を見ることができるようになりました。会場に来る途中に、新緑を楽しむことができましたが、新芽の色を見るだけでは木の種類がよく分からないのが残念です。

GSE 派遣者の壮行会が、4 月 9 日、名古屋東急ホテルで開催され、総勢 50 名近い人が集まりまし

た。そのなかで大澤ガバナーより、派遣生に対して、固くならず、胸襟を開いて、リラックスすることを心掛けてほしいとのアドバイス、また二人のバストガバナーからのご挨拶がありました。豊川クラブから、総勢 4 人のうちの 2 人を派遣することになり、そのお 2 人には既に例会でごあいさつをいただきました。GSE チームリーダーを務める守山 RC の中田さんからは、自分の子供を連れていくつもりで行ってきますとのご挨拶もあり、派遣生を勇気づけることができたのではないかと思います。また、そのときに公開された GSE メンバーによる英語でのプレゼンテーションには感心させられました。

ここで、悲しい報告を一つしなければなりません。平成 20 年 12 月に退会されました鈴木憲一さんご逝去の報が届きました。鈴木さんは、昭和 16 年の 7 月生まれ、昭和 57 年 1 月の入会で、本クラブ 50 年度の会長を務められました。ご案内は改めて致しますが、ご冥福をお祈りいたします。

☆☆☆☆☆ 幹事報告 ☆☆☆☆☆

樋口俊寛幹事

今回は、豊川商工会議所にて本会の名誉会員である山脇豊川市長をお招きして卓話をさせていただく予定です。また 4 月 28 日の例会では、大澤ガバナーに卓話を頂戴する予定ですので、ご出席をお願いします。

☆☆☆ 新入会員スピーチ ☆☆☆

清水宏臣会員

本日は新入会員スピーチの時間をいただきありがとうございます。私の名前は、「しみず ひろたか」です。名前を「ひろおみ」と多くの方が読めますが、「ひろたか」が正しい読み方です。私は、昭和 43 年生まれで、今度の 5 月 8 日で 42 歳になります。40 歳で JC を卒業してからすぐに、先輩のお導きでロータリークラブに入会させていただきました。まだクラブのことはよくわかりませんが、出席率 100%をこれからも維持したいと思います。

私の職業は廃棄物処理です。私が二代目になります。以前は父と母が廃品回収業を営んでおり、スクラップ、古紙、学校の資源回収などをしておりました。両親の後を継ぐまでの経緯をお話しします。

私は、中部小学校、南部中学校を経て小坂井高校に進学し、卒業のときに、運よく中日ドラゴンズにドラフト外で入団することができました。その時のドラフト 1 位は、デビュー・ノーヒットノーランの享栄高校から入団した近藤真市です。そのほかの同期には、現在楽天で活躍している、名電高校からドラフト 3 位で入団した山崎武司、地元出身で中学が一緒のギャオス内藤がいます。

そのとき、わずかながら契約金をいただきましたが、契約金はそれまで育ててもらったお礼として、またこれからはいくらかでも稼げると思い、すべて両親にあげてしまいました。しかし、わずか 3 年で退団することになりました。球団に在籍した 3 年間は世の中に出たばかりでしたので、とても勉強になりました。退団が決まった時には、球団の方でもバッティングピッチャー、データ係、球団職員などを斡旋してくれましたが、同期入団の選手が現役でプレーしているということもあり、トライアウトという形で、現役続行の可能性を探りました。ドラゴンズ以外の 11 球団すべてのトライアウト受けましたが、採用されることなく、自分自身でも諦めがつきました。

その後 1 年ほどぶらぶらしていましたが、長男であることから、両親の事業を引き継ぐことにしました。当時はバブルでしたが資源の値段は安く、事業環境は良くありませんでした。事業規模はあまり大きくはありませんでしたが、父が市あるいは学校関係と取引するという信用があり、私が産業廃棄物と一般廃棄物の許認可の資格を取得し、当時の個人商

店のままで事業を続けることにしました。個人商店を法人にすることを検討していた矢先に、父が脳梗塞で亡くなりました。交通事故のような感じで、少し前まで普通に話していたのが、トイレに行って倒れ、救急車で病院に運ばれ、そのまま帰ることはありませんでした。私が 24 歳で、結婚して 1 年もたたないときです。

その時は仕事について 2~3 年でしたが、小学生のときから両親の手伝いをしていましたので、おおよそのことは分かっていたつもりで、父を頼らずに自分自身でやっていけると思いました。しかし、いざはじめてみて途方に暮れ、いかに父親を頼りにしていたかを思い知らされました。葬儀を済ませ、四十九日明けの、平成 6 年の 8 月 1 日に会社を法人にしました。私は 25 歳で、代表取締役になりましたが、そんな感覚はなく、それからの 3 年間は現場での仕事がほとんどでした。今日のように白いシャツにネクタイをしてゴルフをしている同業者を見て、どうしたらあんな風になれるんだろうと思いました。そんなときに、ある先輩から JC への入会を勧められましたが、現場中心の仕事という理由で入会を断わりましたところ、3 年間で JC に入れるような会社にしろと励まされました。それから努力して、31 歳のときに JC に入会することはできましたが、こんなところにいて大丈夫だろうかと思われ引かれる思いでした。それから 10 年間に JC のいろいろな役職をやらせていただき、いろいろな経験をさせていただきました。その先輩のおかげで、今この場所で話をさせていただいているのではないかと思います。

球団と地元での生活を比べると大きな差があります。球団では自分を知っている人も無く、他の人の 2 倍も 3 倍もきちんとしないと認めてもらえないのですが、地元では、何か問題がある場合でも、あんたはあそこの息子さんかということで何とか収めることができました。ドラゴンズで、フロリダのベロビーチキャンプに同行した時に、ライオンズから来たキャッチャーの大石さんと日本ハムから来た大宮さんという方に、出身高校を聞かれました。私は、野球で有名な学校の出身ではないので高校の名前を言っても分かりませんと答えました。「言え、言いません」の押し問答を何回も繰り返したあとで、しぶしぶ「愛知県の小坂井高校の出身です。」と答えたところ、「どこだ、それ。」と言われました。そ

の時にすごく感じたのは、有名な高校から入団した選手は、名前も広く知られており、先輩も多いので、少々ミスをしてでも許されるが、自分は他人の2倍、3倍きちんとやらないと認めてもらえないのではないかと思います。

産業廃棄物の事業を始めたときに、周囲の人は儲かるからいいねと言ってくれましたが)ロータリークラブの4つのテストのように、事業を進める上で守らなければならない多くの法律をきちんと守ることを心掛けてきました。

母校の中学校には「学校の日」があり、外部のいろいろな人の話を聞く授業があります。当時の岩瀬教頭先生からの依頼で、この12年間中学生に話をさせていただいています。自分の経験してきたことを中学生に話をすることが、中学生の将来に少しでも役立つのであれば、地域に多少なりとも貢献できるのではないかと考えて続けてきています。

身体は大きいのですが大変緊張しています。とりとめのない話になりましたが、これで私の新入会員スピーチを終わります。

田中勢子会員

皆さんこんにちは。10分といわれたのですが5分位しか用意していないので、ゆっくりしゃべろうと思います。

労働基準法が今年の4月1日に改正されました。商売柄そのことについて触れなければいけないと思いますので、少しだけご説明したいと思います。まず、時間外労働の法定割増賃金率は従来25%でしたが、法改正により60時間/月を超えた場合は50%になります。中小企業の場合、この措置は3年間猶予されますが、大企業は4月1日より適用になります。また、45時間/月を超えて残業させる場合は、法律により特別条項付きの36協定を締結する必要がありますが、45時間/月を超えて残業をさせないように努力しましょうという努力規定ができました。併せて、45時間/月を超えて残業させる場合は割増率を法定の25%を超えるように努力しましょうという努力規定ができました。努力規定は将来必ず義務規定に変わりますので、皆さんには心の準備をお願いします。さらに年次有給休暇に対する取り扱いが変わりました。今までは1日単位ですとか、企業によっては半日単位での取得でした。しかし、4月1日からは、年間5日を限度に1時間単位で取得できるようにしなければいけません。それから育児介護休

業法も6月1日から大幅に変わりますので、ご相談がありましたら、最寄りの社会保険労務士か私にご相談ください。

硬い話はこの辺で終わりにします。今日は風が大変に強く、春たけなわだと思います。昔から、春の季語に「春愁（はるうれい）」があります。春はどうも憂鬱になるようですが、皆さんはどうでしょうか。私は最近すごく憂鬱なことが多く、仕事、私生活などについて考えてもしょうがないことをちまちま考えてしまいます。これも春だからでしょうか。更年期ではありませんので念のため。先日豊川の吉田大橋を渡るときに、豊川に古びた手漕ぎのボートが止めてあり、それが波とか風でゆらゆらと揺れていました。それを見て、ちまちま考えるばかりでなく、ときには流れに身を任すようなおらかな気持ちにならなければいけないなと思いました。そこで一句作りしたのでご披露します。

「朽ち船の 波あるままに 春の宵」

5分の予定でしたので、ここで終える予定でしたが、まだ5分ほど残っていますのでもう少し話をさせていただきます。家族に、「俳句ができたから聞いて」というと、子どもは「今ちょっと忙しいから」とか、「あとでいいよ」とか聞いてくれません。夫は、聞いてくれますが、決まって「なんか変だね」と言います。家族にはなかなか聞いてもらえませんので、今日は皆さんに強制的に聞いていただきます。もう一句、春の句をご披露します。春は霞がかかることが多く、お月さまも春の季語である「おぼろ月」と呼ばれ、それに因んだ句です。私はよく和服着ます。体が大きくてごついので似合わないと思うのですが、着た感触、絹が肌に当たる感触がとても心地よくて和服が大好きです。先日着物を着る機会があり、その時に作った、ちょっと色っぽい句を聞いていただいて終わりにしたいと思います。

「月おぼろ 肌に残りし 帯の痕」

ありがとうございました。

☆☆☆ グッドジョブスピーチ ☆☆☆

大塚 正会員

私は今の会社に入りましてエンジニアとして30数年間過ごしてきました。会社の事業内容と私の仕事、そして、今私がどんなことを考えているかをご紹介します。私の会社は1927年の創業で、少し前に80周年を迎えました。会社設立の日

的は、石川県七尾市に産する珪藻土を利用して耐火断熱れんがを製造・販売することでした。皆さんは珪藻土の断熱れんがをご覧になったことはないと思いますが、皆さんになじみのある珪藻土を使った製品に「七輪」があり、現在でもグループ会社で製造しています。もうひとつの例として、「かまど」があります。昔は、荒縄で縛った 20 個位のれんがを、職人さんが各家庭に持ち込み、鎌で形を整えて、現場施工してかまどをつくっていました。現在は工場の中で耐火断熱れんがを加工して組み立て、れんがの表面に化粧タイルを張り付けて最終製品にしています。現在でもかなりの出荷数です。最近では、地方自治体のキャンプ場などで、釜でご飯を炊く体験のために良く使われているようです。

会社の名前は「イソライト工業」と言います。創業当時は片仮名の会社名は珍しかったようです。イソライト工業のイソライトは、熱を遮断するという意味の「isolate」と「ite」という鉱物名などに使う接尾語を組み合わせたと聞いております。意味合いとして、断熱するための石あるいは鉱物ということになります。会社の主な事業は 800℃以上で使用される高温用の断熱材の製造販売です。我々の製造している断熱材には、耐火断熱れんがとセラミックファイバーの二種類があります。耐火断熱れんがは建材の発泡コンクリートに近いもので、セラミックファイバーは住宅などの断熱材に使用されるガラスウールに近いものです。いずれにしても、穴あるいは空気をたくさん含んだセラミックスです。

私は、そのような空気をたくさん含んだセラミックスの研究・製品開発をしてきました。当時は非常にのんびりしていたように思います。当時のイソライトは、耐火断熱れんがのみを製造していたといっていると思います。入社前後の二度のオイルショックで、油の値段が高騰し、断熱れんがの需要が大幅に増え、製造が販売に追い付かない状況でした。そんなこともあり、研究所での仕事も断熱れんがに関するものがほとんどでした。最盛期の豊川工場では大きなトンネルキルン 5 基を使用して断熱れんがを製造しており、私はその一角に設けられた研究所で仕事をしていました。当時は、新しい製造方法の開発には、新しい知識が必要との認識から、かなりの時間を、セラミックスに関する海外文献のトレース、工場での試作、などに費やしていました。この期間に、仮説を立てて実験し、製造現場で確認する

という作業を繰り返していました。この作業を通じて、自分自身の技術的なバックボーンが形成されたように思います。

現在は生産のほとんどが海外に移り、開発に携わる技術者も、工場での製造にタッチすることができなくなっています。表面上の技術、誰もが見える技術は、余り大きく変化していることはないと思います。しかし、ノウハウなどよりももっと基本的で、表面に現れない情報が失われるとともに、会社内で共有することが難しくなっていると感じています。そんなことから、会社にある古い情報を整理し、それを現役世代にいかにして伝えていけばいいか考えているところです。

☆☆☆ Rの友読みどころ紹介 ☆☆☆

平岩龍彦雑誌委員

横書き部の表紙は、カンボジアのプノンペンのお寺の行事で行われる、釈迦の悟りの過程を象徴する「水かけ儀礼」の写真です。縦書き部の表紙は犬山祭りの山車（やま）の写真です。

4 月は雑誌月間で、横書きの 5 ページから日本のロータリーの友をはじめとする雑誌の紹介、ロータリー・ワールド・マガジン・プレスの歴史、ロータリーの友への投稿要領などがあります。

横書き 30 ページの「視点 - ガバナーのページ」には、当クラブ会員である、大澤 2760 地区ガバナーが寄稿されていますので是非目を通して下さい。

縦書き 2 ページからの SPEECH には、現在の世界が抱える、環境、農業、水、貧困などの様々な問題を解決するの、日本の江戸時代がお手本になるのではという興味深い記事が掲載されていますので、一読をお勧めします。

◆◆◆ ニコニコボックス ◆◆◆

《誕生日祝い》

鈴木和夫会員より子夫人 (4. 20)

《結婚記念日祝い》

神尾政好会員 (S54. 4. 15)

寺部 元会員 (S22. 4. 18)

《その他》

大塚 正会員 グッドジョブスピーチを担当。

清水宏臣会員 新入会員スピーチを担当。

田中勢子会員 //

(今週の会報担当は、大塚 正会報副委員長)